

やさしいまち

みやしろ だより 議会

No.133
2025.2.1



未来にチャレンジ！

東武動物公園内
ステージ「HOLA!」



宮代町議会HLP
QRコード

令和6年度一般会計補正予算

障害者サービスと予防接種の強化 2

宮代町議会ハラスメント根絶条例 4

町の考えを問う！一般質問に12人が登壇 6

議案に対する各議員の賛否 13

「サロン・ド・ギカイ」を開催 14

二十歳の想い 16

12月 定例議会

12月定例議会は、11月28日から12月11日まで14日間にわたって開かれました。

町長から令和6年度一般会計補正予算や指定管理者の指定、課設置条例の一部改正など25件が提案され、審議の結果、原案のとおりすべて承認・可決・同意しました。

また、議員提案の「宮代町議会ハラスメント根絶条例」は可決され、「宮代町議会改革特別委員会の設置」は撤回しました。

町民から提出された「小中学校給食無償化を求める請願書」は反対11、賛成2で不採択となり、「佐藤将行議員による進修館駐車場長期駐車車両に関する事実関係の調査を求める請願書」は全会一致で採択しました。一般質問では、12人の議員が質問に立ちました。

令和6年度一般会計補正予算（第3号）

障害者サービスと予防接種の強化

〈賛成12、反対1で可決〉

一般会計補正予算

障害福祉サービスの利用状況や児童手当の支給状況を勘案した経費の増額のほか、公定価格の改定などに伴う保育園への委託費、小中学校の令和7年度児童・生徒数増に伴う教室などの整備、須賀小学校再整備に係る所要の経費などが主な内容です。

主な質疑

問 保健予防事業の子宮頸がん予防接種の委託料1692万円は何人分を予定しているか。また、帯状疱疹予防接種の委託料315万円は何人分になるのか。

答 子宮頸がんワクチンの方は1600万円の予算として、1390人分となる。帯状疱疹に関しては

680件を予定している。

問 学校給食運営管理事業の需用費の約494万円を食材費高騰に伴う賄い材料費の補助にしているが今後の対応について伺う。

答 今回の補正額はあくまで今年度分であり、来年度に関しては、7年度当初予算において、物価上昇分を踏まえた形で予算計上を行っていく。



障害者支援の拠点「すてっぷ 宮代」



質の良い給食を提供する「給食センター」

令和6年度
一般会計補正予算
(第3号)

1億6,981.5万円

一般会計補正予算の主な内容

- 障害者自立支援給付費等負担金
- 子ども・子育て支援事業交付金
- デジタル基盤改革支援補助金
- ひとり親家庭等医療費補助金
- 保健予防事業
- 学校給食運営管理事業
- 小中学校適正配置事業

反対討論

佐藤将行 議員

進修館の指定管理者に対する質問への担当課の答弁が納得できるものではない。この点について、きちんとした整理も検証もなされずに補填することに對して、反対する。

賛成討論

塚村香織 議員

生徒の人数増加に伴う教室改修など1789万円。須賀小の歩道橋工事費4549万円は先行が必要。進修館指定管理料470万円増額は想定外だが今後の見直しを要望し賛成する。

令和6年度
一般会計補正予算
(専決第2号)

1,680.4万円

衆議院議員総選挙及び最高裁判所
裁判官国民審査の執行に係る経費



ワクチン接種について相談できる「保健センター」

問 学校給食については請願も出ており、段階的に第3子を補助や無償にとの意見もある。町の考えを伺う。
答 学校給食における物価上昇分に対する補填は、公費を相当程度投入している。第3子の助成については、近隣の自治体の状況などを考慮しながら、町全体の子育て支援という観点の中で助成を考えていきたい。

問 進修館管理事業のうち220万円は施設利用料金の減収への補填になっているが、町と進修館との考え方の相違ではないか。
答 大きな点は新型コロナウイルスの影響で使用が制限されていたこと。これまで活動していた団体が休止になったり、進修館以外の場

所に移動してしまったことなどの要因が考えられる。進修館は単年度会計で進められており、今後見直す必要を感じている。
問 進修館駐車場の工事が行われることから利用制限をかけなくてはならないため、大規模イベントが減る可能性があると考えられるが、

駐車場対策について伺う。
答 駐車場が制限されることについては、現在の50数台の半分以上に分けて、工事を行う予定である。休日

進修館の施設利用料金の減収に対する課題は

議員議案

宮代町議会ハラスメント根絶条例

〈全会一致で可決〉

町民から負託を受けた町議会議員は、町政に携わる権能と責務を深く自覚し、地方自治の本旨である公共の福祉の増進を体現するとともに、住民全体の奉仕者として、住民福祉の向上に努めなければならない。

ハラスメントは相手の人格及び尊厳を侵す人権問題である。特に議員による町職員へのハラスメントは、町民の代表である議員と町民への奉仕者である町職員という立場から、顕在化しにくい上に、不当に町職員の尊厳を傷つけ、最悪の場合、回復不能な肉体的、精神的被害をもたらす。ひいては人材の喪失、行政の停滞を招くことになり、町民サービスを低下させ、並びに宮代町議会に対する社会的信用の失墜につながる。町全体が受ける損害は計り知れない。

よって、宮代町議会は議員によるハラスメントの根絶と未然防止をすることにより、町民から信頼される議会の実現に資することを決意し、この条例を制定する。

賛成討論

塚村 香織 議員

条例タイトルの根絶という言葉には、議員によるハラスメントを二度と起こさないという私達の強い意志を表現した。今後も議会改革を推進し住民サービス向上に寄与することを要望し、賛成する。

決議

佐藤将行議員に対する議員辞職勧告決議

〈賛成11、反対1〉

令和6年11月8日、宮代町議会議員の佐藤将行議員に対し、最高裁判所の判決で上告を棄却とし、建造物不退去罪が確定となる新聞報道があった。佐藤将行議員は、当選前の令和4年12月、役場の閉庁間際に25通の情報公開請求を行い、必要性のない当日中の受領書の交付を求め、退去要求に従わず建造物不退去罪で逮捕された。一審のさいたま地方裁判所判決で罰金10万円を不服として控訴、二審の東京高等裁判所判決で控訴棄却を不服として上告、最高裁判所判決で上告棄却となり建造物不退去罪が確定。その後、何ら釈明もなく謝罪文の提出もない。町民の負託を受けた厳粛な議会への信頼と品位を著しく傷つけ、政治的道義的責任は免れず、宮代町議会は、佐藤将行議員に対して、自らの意思により議員を辞職するよう強く求める。

(要旨)

反対討論

丸藤 栄一 議員

議員が議会内で不適切な言動をすれば懲罰の対象。しかし、町民の時の行為を議員辞職勧告決議には値しないと判断する。

賛成討論

野原 洋子 議員

町民の時の事件であるが、現職議員として有罪が確定した。公職に就く者として責任を取るべきと考え賛成とする。

人事

教育委員に
やまだときお
山田 鋭生氏を任命



全会一致で同意しました。任期は令和11年1月22日まで。

農業委員会委員

せんざき あつこ 先崎 敦子 氏	おかむら ゆきえ 岡村 由紀江 氏
おりはら まさひで 折原 正英 氏	おおしま さとし 大島 悟 氏
ふかい いちろう 深井 一郎 氏	くさかべ よしかつ 日下部 好克 氏
かなくぼ みのも 金窪 実 氏	おかむら こういち 岡村 宏一 氏
くまくら ゆたか 熊倉 豊 氏	しまむら ただお 島村 忠雄 氏
いぐさ としゆき 伊草 俊行 氏	わたなべ しげる 渡邊 繁 氏
せきね たけお 関根 武男 氏	なみき たかゆき 並木 孝之 氏

条例改正・請願

宮代町課設置条例の一部を改正する条例

令和7年度における組織改編に伴い、町の課題に対してより迅速に対応するため、町民生活課を「地域支援課」と「暮らし安全課」に、まちづくり建設課を「まちづくり建設課」と「未来のまち整備課」にそれぞれ分割し、コンパクトな組織へ変更します。
(要旨)

〈賛成12、反対1〉

メリット

公園や歩道など除草作業の担い手不足の改善。将来的な歳入確保のため、建築行政や区画整理、土地利用の推進をする。



宮代町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国保財政の健全、かつ安定的な制度運営を目指して、埼玉県の標準保険税率を参考に、国民健康保険税の課税限度額の引き上げを行います。高所得層から多くの負担をいただき、中間所得層の被保険者の負担を軽減します。
(要旨)

〈賛成9、反対4〉

反対討論

丸藤栄一 議員

国保加入者は低所得者が多く、国保税が高すぎで払えない。一般会計からの繰り入れを行い、高すぎる国保税を軽減すべき。

請願

佐藤将行議員による進修館駐車場長期駐車車両に関する宮代町議会一般質問における一連の発言及び議事録、並びに議会だよりへの掲載内容に関わる事実関係の調査を求める請願書

〈全会一致で可決〉

賛成討論

泉伸一郎 議員

車の所有者と指定管理者が知り合いのため、駐車容認していたかのような誤解を与えることは問題であり、調査が必要。

令和2年に発生した進修館駐車場長期駐車車両について、佐藤将行議員は令和6年3月定例会、6月定例会、9月定例会において当該車両使用者が進修館指定管理者である特定非営利活動法人MCAサポートセンター代表の「知人」「お子様の友達」を優遇した「事件」として持論を展開しているが、事実無根である事は明白である。その発言等により、当法人は風評被害を被っており、名誉毀損にも該当すると考えるため、佐藤将行議員の言う「事実」の具体的根拠の提示と一連の発言及び議事録、議会だよりの掲載内容に関わる事実関係の調査を求める。
(要旨)

請願

小中学校給食無償化を求める請願書

〈賛成2、反対11〉

反対討論

福澤和美 議員

給食無償化自体は賛成であるが国の助成が必要。本請願は町財政での完全無償化。年額約1億円を毎年確保は現実的ではない。

賛成討論

丸藤栄一 議員

格差と貧困が広がり、また、物価高騰の中、安全な地元野菜の活用と学校給食の無償化の実現は、多くの保護者の願いです。

学校給食は、学校教育の一環であり、心も身体も豊かに成長・発達するために欠かすことのできない柱の一つとなっている。埼玉県でも、無償化を実施する自治体が広がっている。安心して、子育てができる宮代町にするため、「小中学校給食無償化」の実施を求める。
(要旨)



町の考えを問う！

一般質問とは、各議員が町の政策に対し、その執行の状況や将来の方針などについて報告を求めたり、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質問することです。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたダイジェストです。詳しくはQRコードより録画配信をご覧ください。

一般質問項目一覧

P7

小島 あけみ 議員

- ① 誰もが投票しやすい環境整備
- ② 空き家問題
- ③ ペット防災の周知
- ④ 給食センター調理室の環境整備

川野 武志 議員

- ① 和戸駅西側地区への定住促進
- ② 令和7年度予算編成
- ③ はらっパーク宮代の知名度アップ

P11

丸藤 栄一 議員

- ① 学校給食費の無償化を
- ② 国民健康保険加入者の負担軽減を
- ③ 現行の健康保険証の存続を

泉 伸一郎 議員

- ① マイナ保険証の普及
- ② 地域公共交通
- ③ リチウム蓄電池の回収
- ④ フューチャー・デザイン手法の導入

P8

鈴木 次男 議員

- ① 一人ひとりが自覚を持って進めるごみの減量化と資源化
- ② 新しい須賀小学校地域拠点施設

土淵 保美 議員

- ① 消防団活動
- ② スポーツフェスティバル
- ③ 町内商工業の振興
- ④ 病院誘致

P12

佐藤 将行 議員

- ① 山崎アーチェリー場
- ② 禁煙及び喫煙所問題
- ③ 循環バス
- ④ 議事録作成のA I化
- ⑤ 公文書公開制度における通達問題

丸山妙子 議員

- ① 公共交通
- ② 東武動物公園駅西口への病院誘致と公設医療センター六花
- ③ 予算の使い方と地域への再依頼
- ④ 防犯灯・防犯カメラの設置
- ⑤ 公立保育園での定額制紙おむつの導入

P9

野原 洋子 議員

- ① 「L G B T理解増進法」が、成立したが、当町の見解と対応は
- ② I C T学習を取り入れてきた学力向上の成果
- ③ 中一の壁、中一ギャップに苦慮している子供たち
- ④ 新しい村リニューアルによる新事業、企画、設備
- ⑤ 大災害や有事の際の対応は

福澤 和美 議員

- ① 宮代町役場職員の働きがい向上に向けて
- ② 宮代町の小学校行事
- ③ 町内の大雨の際に浸水被害が報告されている箇所の対策と避難所で浸水の可能性がある場所は
- ④ 和戸踏切立体交差事業説明会

※金子正志議員は体調不良のため、12月議会の一般質問には出席できませんでした。
よって議会だよりに掲載されません。

P10

合川 泰治 議員

- ① 助け合い活動への支援を
- ② 須賀小学校建設にクラウドファンディングの活用を
- ③ 公共施設へのネーミングライツの導入を
- ④ 二地域居住への取り組みは
- ⑤ 観光協会設立はどうなったのか

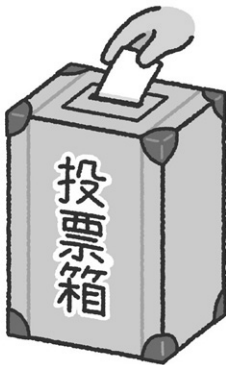
塚村 香織 議員

- ① 手話言語条例制定後の取組み
- ② 新しい村のリニューアル
- ③ 地域包括支援センターの今後の役割

一般質問は12月2日、4日、5日の3日間で行いました。

※項目一覧の順番は抽選順です。
※白抜き数字は掲載された質問、それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。

誰もが投票しやすい環境整備を 「投票支援カード」を導入する



選挙権は平等！誰もが投票できる社会に



こじま
小島 あけみ 議員



問 障がい者や高齢者などが投票に行きやすい環境整備の考えは。

答 総務課長

投票に支援が必要な方がスムーズに投票できるように、代筆して欲しいなどの意思をカードで伝える「投票支援カード」を導入する。

答 総務課長

近隣の状況や費用

などを調査したうえで、検討していきたい。

空き家対策

問 空き家実態調査の進捗状況は。

答 環境資源課長

町内全域の現地調査を終え、今後は所有者へのアンケート調査を行い、空き家件数の精査と今後の意向などの確認を進めていく。

問 「住まいのエンディングノート」の活用は。

答 環境資源課長

空き家対策の一環として活用を進めていく。

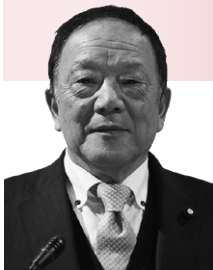
ペットの防災

問 ペットに対する防災についてもっと周知すべきでは。

答 環境資源課長

情報発信を拡充し理解促進を図る。

和戸駅西側地区への定住促進は 必要な対策を積極的に講じる



かわの たけし
川野 武志 議員



子育て環境に恵まれた和戸駅西側地区

問 定住促進に関する取組みは。

答 まちづくり建設課長

須賀小学校は学校の機能に加え、地域の機能に併せもった施設にリニューアルされることで、地域の魅力アップに繋がると考えている。

答 町長

和戸駅西側の開発に合わせて、駅の開

設も実現できるように努力する。残土の山の解消についても、農用地区域からの除外を前提に、民間が参入しやすい条件調査を至急行う。

来年度の予算編成

問 予算編成に向けた町長の基本的な考えは。

答 町長

「持続可能なまちづくりの推進」を基本とし、組織体制の見直しなどにより住民サービスの向上を図る。また安定した歳入確保に向けて、全職員で取り組む。

はらっパーク宮代の知名度アップは

問 新たなイベント開催の考えは。

答 町長

色々なイベントができることを確信し、挑戦していきたい。

プラごみの資源化はどうか！ プラごみでエネルギー回収を



すずき つぎお 議員
鈴木 次男



令和9年度に完成する久喜市の新しいごみ処理施設

問 令和9年度から燃やせるごみと資源プラスチック類を一つの袋で収集し、焼却処理をするがその理由は。

答 環境資源課長

一般廃棄物のうち、ペットボトルを除くプラスチック類の処理については、マテリアルリサイクルが理想であるが、プラスチックのマテリアルリサイクルに関する

現状を考慮し、新施設ではプラスチック類は焼却してエネルギー回収を行う方針である。

須賀小学校地域拠点

問 新しい須賀小学校の安全確保は。

答 教育推進課長

児童の主な生活空間となる普通教室を2階に、地区コミュニティセンターを1階に配置し、階層を分離することで、教育環境や安全の確保を図る。

問 森林環境譲与税を使って、教育に生かせないか。

答 教育推進課長

埼玉県産の材木の購入を検討している。購入をきっかけとして、子どもたちの交流、環境教育の一環として、森林に植樹をすることは、十分に可能性がある。

なり手不足が深刻な問題の消防団 非常に意味のある存在



つちぶち やすみ 議員
土渕 保美



消防団統一訓練による防水訓練の様子

に基づいて現在改正の予定はない。消防団活動は町民の安心・安全を第一に捉え非常に意味のある存在である。

町内商工業の振興

問 須賀小学校の建て替え工事が予定されているが当町もJVを組んで施工すべきでは。また、細分化された入札方法を採用する考えは。

答 教育推進課長

問 全国的に消防団員のなり手不足が深刻な問題だが、当町において欠員はあるのか。また、それに対するの周知方法並びに手当や活動に対する町の考えは。

答 町民生活課長

欠員は9名で、周知に対し庁舎内の掲示板などや町ホームページで、活動報告と共に団員募集を行っている。報酬や手当は近隣との状況

現在では基本設計の段階で発注方法の具体的な検討はまだ行っていない。一般競争入札が原則となるが地元事業者の健全育成の観点から、JVへの発注や総合評価方式による入札、特記仕様書に地元業者を優先し選定することを記載するなど、適切な方法を検討していく。

LGBT 理解増進法の見解と対処は 国が定める教育の方向性に従う



のほら ようこ
野原 洋子 議員



※

理解は大事だが、「性別違和」をあおってはならない

問 アメリカで2020年に「性別違和」と診断された子どもと10代の若者は、2017年の3倍近く増えている。当町の教育状況は。

答 教育推進課長

小学校では道徳で相互理解と寛容、公正・公平についての教材を低学年から扱っている。中学校では社会科で性の多様性を、保健体育では性との向き合い方

の理解を深めている。
問 海外でトランスジェンダーが増え批判されている、包括的性教育がLGBT勧誘教育になる恐れはないか。海外の悪しき後追いを避けるのか。

答 教育長

肯定的、批判的な意見があるが、国が定める教育の方向性に従う。

問 ICT学習の先進国であるスウェーデンが学力低下により取りやめているが、当町はどうか。

答 教育長

施策の違いがあり比較はできない。

新しい村の新事業

問 他自治体で人気の除草やギのレンタル事業はいかがか。

答 現段階では考えていないが他自治体を参考にしていく。

参考にしていく。

※産経新聞出版「トランスジェンダーになりたい少女たち」

役場職員の働きがい向上に向けて ワークライフバランスの充実図る



ふくざわ かずみ
福澤 和美 議員



宮代町の雰囲気や庁舎に魅力を感じ町外の職員も！

問 役場職員の働きやすい環境整備は。

答 総務課長

名札変更、通年輕装化、フレックスタイム制度、時間外勤務縮減、令和6年度中にリモートワーク制度などを導入している。

町内小学校行事

問 小学校4校の陸上競技大会の再開は。

答 教育推進課長

自分の記録向上に

向けて全員が挑戦できる校内陸上記録会として今後も行う。
問 須賀小運動会での6年生鼓笛発表は。

答 教育推進課長

クラブ活動に移行し、希望する児童が主体的に参加できる形にした。

水害時の避難所

問 浸水の可能性がある避難所は。

答 町民生活課長

笠原小学校、日本工業大学、建物のないグラウンドの場合は、ハザードマップでは水害時の指定避難所になっていない。

和戸立体交差事業

問 副道の計画見直し案が提示されたが。

答 まちづくり建設課長

副道の両側を5mずつ拡張し、左右10mの副道案の説明会があった。

助け合い活動への支援を 早急に取り組む必要がある



困った時はお互い様を合言葉に



あいかわ たいじ
合川 泰治 議員



問 既存団体への支援は。

答 健康介護課長

団体からの相談などへの助言を行って、いる。その中でも外出の付き添い、送迎などのサービスは、日常生活圏域ニーズ調査の結果から、町として早急に取り組む必要があると考えている。

問 須賀小学校建設にクラウドファンディングの活用を。

答 教育推進課長

令和5年の11月から令和6年の2月を期間として、ふるさと納税による支援の募集を始めた。

問 銘板の設置はどうか。

答 教育推進課長

寄付する方にとって記念に残る良い方法だと思う。設置箇所やルールなどを確認しながら検討していきたい。

問 二地域居住への取り組みを。

答 企画財政課長

二地域居住とは、主な生活拠点とは別の特定の地域に生活拠点を設ける暮らし方である。

本制度を活用することで、第5次総合計画など内容の充実と財源確保を図ることが期待できるので、検討していきたい。

手話言語条例制定後の取組は 手話団体と協力し推進していく



つかむら かおり
塚村 香織 議員



社会を変える可能性のあるデフリンピックは100周年

問 手話に関する講演会開催の考えは。

答 福祉課長

単独開催の予定はないが、奉仕員養成講座の特別講演を一般の方が聴けるよう調整し検討する。

問 東京2025デフリンピック※周知を学校で考えるは。

答 福祉課長

町内の子どもたちへの周知方法は時期も含め、実施できるように検討する。

新しい村の今後

問 一歩進んだ農業へのチャレンジの場として、循環型トイレを導入し液肥を活用した無農薬野菜を推進する考えは。

答 産業観光課長

作業効率を考え検討していく。

問 進修館レンタルサイクルに新しい村のクーポン券を付ける考えは。

答 産業観光課長

ガイドマップに付ける検討をしている。

地域包括支援センター

問 今年4月から南北圏域2拠点の設置になるが、地域外の利用も可能なのか。

答 健康介護課長

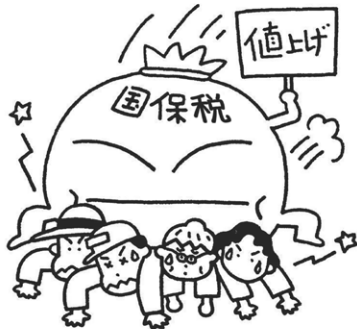
基本的には住所でしっかり担当を分ける。難しい場合は対応する。

※デフリンピックとは 国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」。

国保税の値上げは中止を 医療費を下げていく対策に取り組む



がんどう えいいち
丸藤 栄一 議員



国保税が高い！加入者が悲鳴

問 町長は、12月議会に国民健康保険税の値上げ案を提出した。1人当たりと1世帯当たりの国保税額は、どうなるのか。

答 住民課長

1人当たり9万4821円から10万2530円へ、7709円の増額。また、1世帯当たり13万5542円から14万6560円へ、1万1018円の増額となる。

問 国保加入者の多くは低所得者である。物価高騰が国保加入者の暮らしや営業を直撃している時に、国保税を値上げするべきではない。

答 町長

赤字解消を考えて値上げのお願いをしている。宮代町は医療費が高いので、高血圧や糖尿病の対策などに取り組んでいく。

学校給食費無償化を

給食費の無償化に必要な財政負担は。

答 教育推進課長

約1億1000万円の財政負担が毎年発生することになる。**問** 財政負担が厳しいというのであれば、第2子、第3子への一部無償化の考えは。

答 町長

第3子など一歩一歩できるところから検討していきたい。

地域に根差した公共交通の構築を 効果的な移動手段を再構築したい



いずみ しんいちろう
泉 伸一郎 議員



公共交通の要となっている循環バス

問 地域公共交通への今後の町の取組は。

答 企画財政課長

どのような公共交通の形が一番効果的なのか「リ・デザイン」が必要と考える。循環バスやタクシーに限らず、デマンド交通やライドシェアなど、移動手段の方法を考えていく。

マイナ保険証

問 マイナ保険証の利用促進と取得支援は。

答 住民課長

「休日交付予約」を10月から町公式ラインで行えるようにした。マイナ保険証利用でのメリットや利用の仕方などをチラシ、パンフレットや広報で周知している。

蓄電池の適正回収

問 リチウム蓄電池の適正な回収状況は。

答 環境資源課長

令和3年4月に内容を拡充して公共収集を行っている。引き続き、分別徹底の周知に努めていく。**問** フューチャー・デザイン※の導入は。

答 企画財政課長

長期課題を解決する際に有効な手法の一つと言われており、計画に応じて活用を考えていく。

答 町長

将来を見据え、取り入れていきたい。

※フューチャーデザインとは 将来世代の視点を取り入れて、持続可能な社会の構築を目指す手法。

町は条例違反を放置しているが？ 違反につき、把握・認識している



さとう まさゆき
佐藤 将行 議員



アーチェリー場窃盗事件で、町はまたもや町民へ知らせず！

問 アーチェリー場で、条例違反の利用や窃盗事件があったが、町は一切公表しない。幸い事故には至っていないが、町の管理体制を伺う。

答 教育推進課長

これまで長年、管理運営全般を「みやしろアーチェリー連盟」へ任せっきりにしていたことは事実。その結果、会長交代や窃盗事件時に破損された鍵ケース

の所有権などに関し、町が把握できなかった問題などを認識し、検討を始めた。

問 駅西口を禁煙地区

にと長年提案し続けてきたが、縦割り行政を理由に検討すらされなかった。担当課はいくつか。

答 健康介護課長

5課である。

問 ぐるる宮代へは久喜市民の利用者が多

い。そこで、久喜市のバスをぐるるへ乗り入れるよう、町から久喜市への提案は。

答 企画財政課長

検討は行う。

問 通達による公文書

公開制度の見直しと、控えを手書きで作成するという問題改善の進捗は。

答 総務課長

課題として認識しており、今年度、見直しを行っている。

駅前などに防犯カメラの設置を 前向きに検討していきたい



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員



和戸駅前には暗く人通りが少なく犯罪場所になりやすい

問 駅前などに防犯カメラの設置が必要。町の考えは。

答 町民生活課長

4月に安心安全まちづくり推進事業補助金交付要綱を見直し、防犯カメラの購入費の補助をメニューに追加した。今後は人が集まる場所、また危険箇所などへの設置について前向きに検討していきたい。

問 町民の要望に十分応えられる病院にする考えは。

答 健康介護課長

六花は、入所者が生きがいをもって暮らせるようなやすらぎを届ける施設である。さらなる充実や、町民に十分応えられる地域の病院になるよう継続的に働きかける。

問 町民が信頼して使える施設にするためには。

答 町長

診療時間などを含め、今までの六花の在り方をしっかりと見直していかないとけない。

公共交通

問 バス会社との契約と見直しは。

答 企画財政課長

現在運行の朝日自動車(株)を選定。3年間契約で一部減便となる。

公設宮代医療福祉センター六花

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 退 退席 ― 議長は表決に加わらない

議 案 番 号	議 案	主 な 内 容	議 決 結 果	無会派						公明党		令和新風の会					議 長
				6人						2人		5人					
				佐藤 将行	丸藤 栄一	丸山 妙子	福澤 和美	野原 洋子	金子 正志	小島 あけみ	泉 伸一郎	鈴木 次男	合川 泰治	塚村 香織	土淵 保美	川野 武志	
62	専決処分の承認を求めること	議 P3	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
63	課設置条例の一部を改正する条例	議 P5	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
64	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	議 P5	可決	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—
65	地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部を改正する条例	人員基準の緩和	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
66	国民健康保険出産費基金設置及び資金貸付条例を廃止する条例	利用実績が無いことから条例廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
67	指定管理者の指定	契約期間満了に伴い、新指定管理者選定(学童保育所)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
68	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
69	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
70	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
71	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
72	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
73	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
74	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
75	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
76	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
77	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
78	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
79	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
80	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
81	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
82	農業委員会の委員の任命につき同意を求めること	議 P4	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
83	令和6年度一般会計補正予算(第3号)	議 P2・P3	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
84	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	保険給付費増額による追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
85	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	高齢者等給食サービス業務等の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
86	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	債務負担行為として収納業務委託契約の追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員2	議会ハラスメント根絶条例	議 P4	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員3	議会改革特別委員会の設置	議会改革特別委員会設置	撤回	原 案 撤 回													—
決議1	佐藤将行議員に対する議員辞職勧告決議	議 P4	可決	退	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願3	小中学校給食無償化を求める請願書	議 P5	不採択	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
請願4	進修館駐車場長期駐車車両に関する佐藤将行議員の一般質問における事実関係の調査を求める請願書	議 P5	採択	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

一部事務組合の令和5年度決算

久喜宮代衛生組合 (ごみ・し尿の収集・処理)	広域利根斎場組合 (火葬場・葬祭の運営)	埼玉東部消防組合 (消防・救急の広域行政)
44億7,283万円 (前年度比13.8%増)	3億284万円 (前年度比5.7%減)	59億8,401万円 (前年度比0.87%減)
町の負担額 5億8,289万円	町の負担額 1,265万円	町の負担額 5億1,312万円

「サロン・ド・ギカイ」を開催

区長・自治会長と議員との懇談会

今回は、区長・自治会長と議員との意見交換の場として、4つのグループに分かれて懇談会を開催しました。

「各地域で抱える課題」や「課題を解決するためのアイデア」について、参加された皆様の活発な意見をまとめました。



ワールドカフェ形式により各グループごとに意見交換

参加地区・自治会

- 姫宮地区 中寺、西、姫宮北団地、姫川1、川端1、川端3
- 古利根地区 新中町、川島2、弁天町
- 駅西口地区 道仏3、新道1、新道2、宮代1の1、宮代1の2、蓮谷、宮代学園台
- 須賀地区 須賀上、須賀下、東桑原2、宮代台、和戸2丁目2、和戸3丁目、八河内、桃山台、和戸町内会

日時

令和6年11月9日(土)

10時~12時

会場

進修館・大ホール

参加者

区長・自治会長 25人

テーマ1 各地域で抱える課題

- 区長の仕事が多い。
- 配布物の問題（配布方法など）。
- 自治会員の減少。
- 役員の成り手不足。
- 新しいメンバーが少ない。
- 町会に加入するメリットがない。
- 子どもが減って行事ができない。
- 住民の高齢化により行事の実施が難しい。
- 自治会に入会しない。
- 自治会の存続問題。
- 空き家、空き地問題。
- 草刈り（空き家、道路、町有地など）。
- 側溝清掃（高齢化により作業が大変）。
- 公園がない。
- ごみの収集日のカラス問題。

テーマ2 課題を解決するためのアイデア

● 自治会のメリットを知

らせる。

- 転入時に町が自治会の案内をしてほしい。
- 役割分担ができればいい。
- 空き家対策として、リノベーション活用。
- メリットとして、災害時の協力体制。
- ちらしを作るなど周知する方法を考える。
- スマホ教室の実施。
- コミュニケーションを取る。

アンケート結果

- 今後の開催形式の希望
- グループに分けた方がよい。
- 予めテーマを設定し、色々な世代の方々が参加しやすい。
- 今後取り上げてほしい内容、テーマは
- 人口減少対策
- ごみ処理問題
- 高齢者の生きがい対策
- 自由意見・感想
- 時間が短い。テーブルごとに議題を決めて深



- い議論を交わすようにしたら良いと思う。
- 直接議員の皆さんと意見交換ができる場を作って頂いて良かった意見が盛んでこれからという時に時間が切られて中断してしまった。
- 自治会長、区長の共通した問題点を意見交換できたのが良かった。
- 他地区の区長のやり方がわかって良かった。
- 面白い取り組みだと思います。課題を整理して来年度以降も続けてください。
- 時間が短く、テーマごとのディスカッションが中途半端に終わった。
- 交流が出来て良かった。次回も出席したいです。

参加された皆様ありがとうございました。次回は5月に開催予定です。

総務文教委員会

地域拠点複合施設



愛知県新城市 人口 41,397 人

視察日 10月9日



開放的な中庭が印象的

新城市立作手小学校、つくで交流館複合施設を視察。須賀小学校と地域拠点施設整備計画の設計者がこちらの施設と同じであり、現地で説明も受けた。コミュニティセンターと小学校が併設された施設で小学校の授業や文化的な催し物は、交流館の施設（ホールなど）を利用。複合施設として特に良い点は、そろばん、短歌、ピアノなどの教室もあり、地域の方が訪れやすい場所になっていること。しかし、離れた地域

の方の利用が課題となっている。

建物に一步入ると木の香りに包まれたのが印象的だったが、体育館まで木造にするのは費用やメンテナンスなど検討の余地がある。交流館の入り口付近に放課後児童クラブも入っている。住民の皆さんが、地域の子供の面倒を見てくれることや、先生方の負担が減ったと聞き、複合施設の中での子どもたちの様子を校長先生から伺うと、この学校に6年通える事は、成長期に大変大きな影響があって、素晴らしい事業であり、当町でもそこは期待したい。実際に施設を見ることで、須賀小学校地域拠点整備への課題が見つかり、また期待も膨らんだ。



小山町ホームページ▼

福祉産業委員会

移住・定住



静岡県小山町 人口 17,023 人

視察日 10月10日



豊かな財政で移住を推進

小山町は静岡県北東部に位置し、町の北西端は世界文化遺産の富士山頂に達する。町の総面積は約136km²で宮代町の約8倍。富士スピードウェイを始め多くの有名なテーマパークがあり、東名高速道路や国道が走りアクセスが良く、自然とも調和した町である。

小山町では「おやまで暮らそう課」が専門的に移住定住事業を管轄する部署として設置され、不動産関係に精通した職員を配置し、思い切った取り組みで推進している。宅地造成事業では、地元の不動産業者との連携し、官民一体となって取り組んでおり、移住した場合の補助金などで結婚、出産、子育てしやすい環境を提供し若い世代を支えている。当町も大いに学ぶべきところである。ふるさと納税では、町の年予算を超える年もあり、それを財源として新規事業の試みも予定され、豊かな財源が暮らしやすいまちづくりに繋がっている。当町でも企業誘致やふるさと納税の税収を上げることや、職員の人材育成に力を入れ、議会としても町と一体となり、取り組んでいきたい。



先進自治体から学ぶ

各常任委員会による「県外視察」の報告



二十歳の想い



実行委員長
せきね はるか
関根 春佳 さん
(前原中学校出身)

こうして二十歳を迎えられたことを嬉しく思うと同時に、この20年間、大切に育ててくれた両親や家族、たくさんの瞬間を共有した友達、どんな時も応援してくださった先生方、そしていつも優しく見守って頂いた地域の皆様のおかげだと感謝しております。

緑と活気溢れる宮代町で生まれてから20年を過ごせたことは、とても幸せなことだったと感じています。

今までの20年間は「こども」という守られた枠組みのなかで生活をしてきましたが、二十歳という節目を迎え、いよいよ大人として社会に参加することに期待と不安が入り交じっています。

これからきつと辛い場面や頑張らなければならぬ場面に、たくさん遭遇すると思います。そんな中でも自分たちらしく歩みを進められるように日々精進して参りますので、温かく見守って頂ければ幸いです。



二十歳のつどい実行委員の皆さん

表紙の写真紹介

今年の二十歳のつどいの対象者は325人ですが、令和7年1月12日に行われた式典には、190人の方が参加されました。

晴れの良き日に東武動物公園イベントステージ「HOLA! (オーラ)」で開催されました。

きらびやかな晴着や凛々しいスーツを纏い、笑顔で式典に参加されていました。

これからの夢や希望に向かってやりたい事に沢山チャレンジして下さい。明るい未来が訪れることを願っています。

議会を傍聴しませんか

3月議会の予定は

2月20日(木) 午前10時開会

場所 議場 (進修館小ホール)

一般質問は

2月25日(火)・26日(水)・27日(木)

日程は変更になる場合もあります。

編集後記

新年号は、「二十歳のつどい」に参加された方々の写真からのスタートです。

12月議会では、議員の発議で「ハラスメント根絶条例」を制定しました。制定にあたり、講師を招いて学習会を開くことから始め、半年以上練り上げて制定されたものです。

また、区長・自治会長の皆様と「サロン・ド・ギカイ」を開催することができました。これを機会に、さらに多くの方々と対話する場を設けていきたいと感じました。さて皆様にはどの記事が目にとまりましたでしょうか。

(丸藤)



左から 丸藤栄一委員、泉伸一郎委員長、佐藤将行副委員長、鈴木次男委員、野原洋子委員